

アカペラ用セッティングシート 記入用

マイクは1人1本が基本
減らすのはコーラスだけ
番号は下手から①②③…

グループ名（出演名義）

出演日・会場・イベント名

代表者名・連絡先（電話/メール）

人数（パートの内訳）

① マイク番号とパート（1行=1本）

番号	名前	パート（Lead/Cho/Bass/VP）	マイク（会場／持込・機種）	ハンド／スタンド	返しに欲しい音
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

② 立ち位置（上手・下手は客席から見た向き）

奥

マイク1本=1人。下手から①②③…と番号を振る →

下手（客席から見て左）

上手（客席から見て右）

← 返し（台形）の位置も描く

↓ 客席側

set-zu.jp

書き方： マイク=1人（番号とパートを添える） 台形=返し（モニター） スタンドに立てるマイクは「S」、持込は「持込」と注記

③ 返しと、会場に確認すること

返しの台数と位置
目安は2人に1台・最低でも左右2台

有線○本・ワイヤレス○本
分けて書く。ワイヤレスは会場に上限

スタンド（本数と用途）
MC用・コーラス共有用

持込マイク・別chの希望
例：ボーイパは持込で別ch

④ リード回し（曲ごとに、リードを取るマイク番号）

曲順	曲名	リード（マイク番号で。Aメロ① → サビ③ のように）	PAへの一言
1曲目			
2曲目			
3曲目			
4曲目			
5曲目			

アカペラ用セッティングシート 記入例

記入例：6人・対バン30分
有線6本・返し3台
ボーイパだけ持込

グループ名（出演名義）
ソライロ

出演日・会場・イベント名
11/3（火・祝）〇〇ライブハウス・
対バン30分

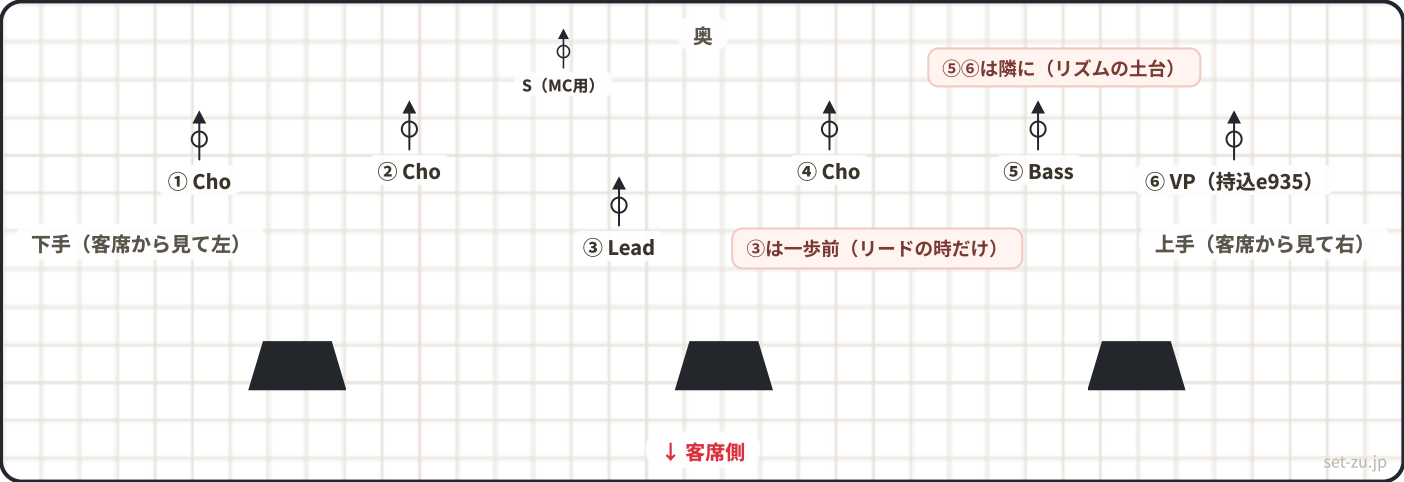
代表者名・連絡先（電話/メール）
高橋 090-0000-0000

人数（パートの内訳）
6人（Lead・Cho3・
Bass・VP）

① マイク番号とパート（1行=1本）

番号	名前	パート（Lead/Cho/Bass/VP）	マイク（会場／持込・機種）	ハンド／スタンド	返しに欲しい音
①	佐藤	Cho（トップ）	SM58（会場）	ハンド	ベース少し
②	鈴木	Cho（セカンド）	SM58（会場）	ハンド	ベース少し
③	高橋	Lead	SM58（会場）	ハンド	Cho・Bass多め
④	田中	Cho（サード）	SM58（会場）	ハンド	ベース少し
⑤	伊藤	Bass	SM58（会場）	ハンド	VP・自分多め
⑥	渡辺	VP	e935（持込）	ハンド	Bass多め
⑦					
⑧					

② 立ち位置（上手・下手は客席から見た向き）



書き方： マイク=1人（番号とパートを添える） 台形=返し（モニター） スタンドに立てるマイクは「S」、持込は「持込」と注記

③ 返しと、会場に確認すること

返しの台数と位置
3台（①②の間・③④の間・
⑤⑥の間）
目安は2人に1台・最低でも左右2台

有線〇本・ワイヤレス〇本
有線6本（ワイヤレスなし）
分けて書く。ワイヤレスは会場に上限

スタンド（本数と用途）
MC用に1本（③の後ろ）
MC用・コーラス共有

持込マイク・別chの希望
⑥ボーイパのe935のみ持込・別
ch
例：ボーイパは持込で別ch

④ リード回し（曲ごとに、リードを取るマイク番号）

曲順	曲名	リード（マイク番号で。Aメロ①→サビ③のように）	PAへの一言
1曲目	「〇〇〇〇」	③ 全編	曲頭はボーイパ⑥から（カウントなし）
2曲目	「〇〇〇〇」	Aメロ①→サビ③	①は1番のAメロだけ
3曲目	「〇〇〇〇」	③。間奏で⑤ベースソロ8小節	⑤を間奏だけ上げてください
4曲目	「〇〇〇〇」	③+②のツイン（ラスサビ）	曲後のMCは③が後ろのスタンドで
5曲目			

アカペラのマイク早見表

本数・持ち方・返し・並び方

リード・ベース・ボーイパは**1人1本**
減らすのは**コーラス2人で1本**まで
返しの要望は**グループで1つ**に

① 人数別のマイク本数

人数	1人1本なら	足りないとき（最小）
4人	4本（Lead・Cho・Bass・VP）	4本のまま。共有できる組がない（ボーイパなしの4声なら3本）
5人	5本（Lead・Cho×2・Bass・VP）	4本（コーラス2人で1本）
6人	6本（Lead・Cho×3・Bass・VP）	5本（コーラス3人で2本）
7人	7本（Lead・Cho×4・Bass・VP）	5本（コーラス4人で2本）
8人以上	人数分。返しは4台以上	コーラスは2人で1本まで。それ以上まとめるならスタンドで面で拾う（合唱の形）

減らしていいのは**コーラス**だけです。リードは1人だけ音量を上げ下げしたい、ベースは口に近づけて低音を作る、ボーイパは音が大きく処理も別——この3人は**1人1本から減らしません**。リードが曲ごとに回るグループは、**リードを取る人を共有マイクにしない**でください。

② パート別のマイクと持ち方

パート	マイクの例	持ち方・距離
リード	会場のSM58で十分。持ち込むなら同じ型を	口元から数cm。張るところは少し離し、ささやく所は近づける
コーラス	SM58。共有するならスタンドに立てる	共有は 2人 まで。2人の口から同じ距離に立て、片方に寄らない
ベース	SM58でも出る。AKG D5 を使う人も多い	口に近づけるほど低音が太くなる （近接効果）。離すと急に細くなる
ボーイパ	SM58／Beta58A／e935 など。持込も多い	1本・別ch 。グリルを手で覆いすぎない（ハウリングしやすくなる）

③ パートごとに返しに欲しい音

パート	返しに欲しい音	書き方の例
リード	コーラスとベース（和音の土台）	「リード：コーラス・ベース多め、自分は少し」
コーラス	隣のパートとベース	「コーラス：ベース少し、全体は控えめ」
ベース	ボーイパと自分	「ベース：ボーイパと自分を多め」
ボーイパ	ベースと自分	「ボーイパ：ベース多め、自分は少し」

要望は**グループで1つにまとめてから**伝えます。1人ずつ「自分を上げて」と頼むと全員の音量が上がりが続け、6本のマイクが一斉にハウリングへ近づきます。

④ 立ち位置の3つの形

並び	向いている場面	注意
横一列	ライブハウス・学祭など、客席に正対したいとき	端どうしの声が聴こえにくい。 返しを両端にも置く
浅い半円	バラードで声を合わせたいとき・間口が狭いとき	お互いの口元が見えて合わせやすい。端の人は 客席側へ体を開く
2列	7人以上・奥行のあるステージ	後列の音が前列の背中当たる。 後列は前列の間に立つ

⑤ ハウリングを起こしやすい3つの癖

癖	なぜ起きるか	こうする
下に向ける	歌わないとき、マイクの正面が床の返しを向く	休むときも胸の前で上向きに持つ
グリルを覆う	ボーイパが手で深く囲うと、後ろの音まで拾いやすくなる	囲うのは音圧のため。音量は声で出す
返しの正面	返しの音がそのままマイクに入る	返しは左右の斜め前。本番の立ち位置でリハする

会場の上限・リハ・提出前チェック 4つの会場別

マイクの本数は**会場の機材で上限**が決まります。**有線とワイヤレス**を分けて書いて確かめる

① 会場ごとのマイクの上限

会場	上限になるもの	実例（公開されている機材表・仕様より）
ライブハウス	ボーカル用マイクと返しの台数	新宿SAMURAI：SM58×6+SM58S×1+Beta58A×4、返し6台、ワイヤレス5本（1本3,000円）。京都GROWLY：SM58×10、返し5台
公共ホール	ワイヤレスの本数（受信機のチャンネル数）	横浜・ミズキーホール：有線のダイナミック24本に対し、 ワイヤレスは6本まで 。返し（はね返り）6台
施設・公民館	簡易ミキサーの入力数	5人のアカペラ：「ワイヤレス5本は混線が心配」→ 有線5本+簡易ミキサー2台 （音響レンタル店の事例）
路上・カフェ	電池アンプのマイク入力	Roland CUBE Street EX・BA-330 は マイクを挿せるXLR入力が2つ 。5人ならミキサーを足す

ワイヤレスは**受信機のチャンネル数**が、同時に使える**本数**です（2chなら2本）。6人全員をワイヤレスにすると、会場の上限に当たるか、常設のワイヤレスと電波が近づきます。**全員が並んで歌うなら有線が基本**、ワイヤレスは動き回るリードだけ、が現実的です。

② リハーサルでやる順番（時間が短くてもこの順で）

リハでやる順番	確かめること
1. マイク番号順に1人ずつ声を出す	①から順に。ボーイパはキック→スネア→ハイハット→1小節
2. 一番大きく歌う曲のサビ	ここで音量の上限（ハウリングしない最大）を決める
3. 一番小さく歌う曲の頭	下限を決める。ささやきが客席に届くか
4. 返しの要望をまとめて1回で伝える	パートごとに欲しい音を一言ずつ
5. 本番の立ち位置で、リードが前に出る動き	返しの範囲から出ないか確かめる

③ 提出前チェック（13項目）

マイク

- ☐ 人数分の本数を書いた
減らすならコーラスだけ・2人で1本まで
- ☐ マイクに番号を振り、名前とパートを書いた
下手から①②③…
- ☐ ボイパとベースは1人1本、ボーイパは別chと書いた
- ☐ 持込マイクの機種と本数を書いた
例：⑥ボーイパ e935 持込

立ち位置・返し

- ☐ 上手・下手は客席から見た向きで書いた
- ☐ ベースとボーイパを隣にした
離すなら理由をひとこと
- ☐ 返しの台数と、誰に何を返すかを書いた
要望はグループで1つにまとめる
- ☐ 歌わないときにマイクを返しへ向けない
全員で確認しておく

会場・当日

- ☐ 有線○本・ワイヤレス○本と分けて書いた
ワイヤレスは会場ごとに上限あり
- ☐ スタンドの要否を書いた
MC用・コーラス共有用
- ☐ 路上・簡易PAならマイク入力の数を確認した
電池アンプはXLR2つが多い
- ☐ リード回しをマイク番号でセットリストに書いた
A×口①→サビ③のように
- ☐ リハで一番大きい曲と一番小さい曲を歌う
音量の上限と下限を決める

ファイル名の型

グループ名_出演日_セッティング.pdf

例：ソライロ_1103_セッティング.pdf（会場が探しやすい）

セット図くんで作るなら

マイクを人数分並べて、**番号とパート**を書き添えるだけ。PDFと共有URLでそのまま提出できます（set-zu.jp/app/・登録不要）